

グリーン改造工事のお知らせ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、地球温暖化による気候変動により、毎年のように観測される異常な高温やゲリラ豪雨の影響は、ゴルフ業界においてもグリーンの悪状況を引き起こす要因となっており、各ゴルフ場ではさらなる対策が求められています。

当倶楽部では、これらの問題を根本から解決すべく、あらゆる気候変動において一年を通して良いコンディションを保つことができる、オーガスタ・ナショナル・ゴルフクラブで考案された画期的なエアレーションシステム「サブエアシステム」の導入を決定し、2023年1月10日（火）より、グリーンの改造工事を実施いたします。

改造工事は長期に及ぶ大がかりなものとなるため、ご来場のお客様には多大なご迷惑をお掛けすることとなります。しかしながら、中長期的に避けられない地球温暖化の影響に対し、未来において持続可能なゴルフ場とするため、皆様には何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

グリーンフィールドゴルフ倶楽部

サブエアシステム

サブエアシステムは、1994年にマスターズの開催されるオーガスタ・ナショナル・ゴルフクラブ管理責任者であったマーシュ・ベンソン氏により開発されました。

サブエアシステムでは、グリーン土壌中に埋設されている排水管に接続された送風機により、グリーン表層（プレー面）を乱すことなく、新鮮な酸素を多く含んだ大気を直接芝草の根に供給します。また、送風機の送風を吸引方向に切り替えることにより、余剰水分、芝の育成に有害なガスや二酸化炭素を土壌から引き抜くことが可能です。（このとき同時に新鮮な空気が表層より導かれます。）土壌の水管理は、近年温暖化により常態化している酷暑において、特に夜間の土壌温度を効果的に下げるため、また大雨後の余剰水分を素早く抜き取るために大変有効に働きます。

サブエアシステムは、サブエア社独自の10に及ぶ特許で構成され、今世界で注目されているグリーンエアレーションシステムです。

サブエアシステムは、サブエア社独自の10に及ぶ特許で構成され、今世界で注目されているグリーンエアレーションシステムです。

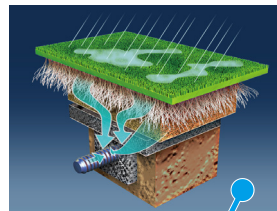
送風モード

新鮮な酸素を供給



吸引モード

余剰水分、有害ガスの抜き取り及び新鮮な酸素導入



送風機

